

12月上旬。プリキュアになって戦いごっこをしている中で、「赤いロボット怪獣をつくりたい」という子どものひと言から遊びが広がりました。ダンボールを探し、色を塗り、顔の表情を考えながら、みんなで力を合わせてロボット怪獣をつくりました。できあがったロボット怪獣は、いつの間にか戦う相手ではなく、大切な遊び仲間になっていました。「ロボット怪獣がお熱を出した！」「手当しなきゃ」と、養護の先生のもとへ向かい、冷えピタを貼りながら、「これで、お熱下がるね」「あ～、よかった！」と安心した表情を見せる子どもたち。遊びは形を変えながら、まだまだ続いていきました。

もうすぐ、全部ぬれそうだね

たのしみだね



冷えピタ貼ったら、お熱下がるよ！



11月18日
三交バス・養老鉄道に乗って多度へミカン狩りに出かけました。



好きな大きさのミカンをもぎ取りました。

多度駅の改札を出ると目の前に大きな虹が出迎えてくれました。



ミカン畑では、鋏を使ってミカンのもぎ取り方を教わりました。



7月14日 スイカの収穫
一番重いスイカは8.9 kgもありました。



ゆっくり、ゆっくり。



重たいなあ



わあ、黄いろだあ



かかしに守ってもらおう！



食べたスイカの種を埋めたら、芽が出て、つるが伸びて、9月にふたたび小さなスイカを収穫。二度目の赤いスイカをみんなで分けて食べました。

毎日の生活の中で、水やりや草取りのお世話をし、収穫し食べた経験は、生きる力の基礎となっていきます。